

-日本で広がるパナマの民族手芸



・日本で広がるパナマの民族手芸

■ 愛莊町立歷史文化博物館



クナ族のモラ ブラウス(黄)

日本でも愛される太陽の島の手芸

びん細工や米袋、近江刺繍など、手芸は近江を代表する産業のひとつであり、
その技術と美意識は現代まで受け継がれています。

滋賀県出身である中山富美子氏は、パナマのクナ族の間で伝承される手芸技術「モラ」に魅せられ、
現地に赴きモラの技法を学んで手芸作家として活動されています。
本展覧会ではパナマのクナ族が製作した現地のモラを展示するとともに、
中山富美子氏を初めとする日本のモラ作家が日本で製作したモラを展示し、
国を越えて愛される美しい民族手芸「モラ」の世界を鑑賞いただけます。



クナ族のモラ ブラウス(赤)

上下：中山富美子《世界の国の人々》(部分)

